

感謝の気持ちを伝えよう！

コロナ禍で働くかたなどへの感謝メッセージを募集します

問広報課区報係

（☎5722-9486、FAX5722-8674）

コロナ禍で医療や公共交通、流通、保育など、私たちが日常生活を送るうえで欠かせない仕事を担っているかたへ、感謝や応援の気持ちを伝えてみませんか。

区民の皆さんから、写真やメッセージを募集し、区報やホームページで紹介します。普段なかなか感謝を言えない、家族や友達などへのメッセージも大歓迎です。皆さん思いをぜひお寄せください。

募集内容

メッセージを掲げた写真や手書きメッセージを撮影した写真を送ってください

①写真

- 横長で撮影した5MB以下のJPEGファイル
- ※手持ちでメッセージを見せるなど感謝の気持ちを伝える様子を撮影してください
- ※メッセージを書く場合は、太く・大きな文字で見えるように書いてください

②メッセージ 50文字以内

手書き、パソコンなど作成方法は自由です

応募方法

①はEメール、②は郵送・FAX・Eメールに、「感謝メッセージ」と明記のうえ、氏名（ニックネーム・匿名も可）、電話、年齢と①②のほかに、感染症予防のために取り組んでいることを書いて、9／30（必着）までに、総合庁舎本館4階広報課（〒153-8573目黒区役所〈住所不要〉、FAX5722-8674、✉kohobosyu@city.meguro.tokyo.jp）へ

※詳細はホームページ（右コード）をご覧いただき、お問い合わせください



感謝

注意事項

- 著作権・所有権は区に帰属し、返却しません
- すべてのメッセージを紹介できない可能性があります
- 公序良俗に反するもの、第三者の著作権・肖像権・プライバシーを侵害するものなどは掲載しません
- 投稿者以外のかたが写っている場合は、必ず承諾を得てください
- 制作上、メッセージを加工・修正・要約して掲載することがあります
- 未成年のかたは、保護者が注意事項に同意したうえで応募してください
- 個人が特定されるような投稿はしないでください

長引くせきは 結核かも？

9／24～30は
結核予防週間

問感染症対策課感染症対策係
(☎5722-9896、FAX5722-9508)

結核は過去の病気ではありません

結核は、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。かつては不治の病と恐れられ、死亡原因の第1位でした。薬で完治できるようになった現在も、1日に平均40人以上が発症し6人が命を落としている、日本の重大な感染症です。

新型コロナウイルス感染症とも症状が似ているため、 より注意が必要です

最初のうちは症状がほとんどありませんが、病状が進行すると風邪に似た症状がでます。今は新型コロナウイルス感染症もあるため、いつも以上に注意してください。特に高齢者は要注意です。疑わしいときは自己判断をせず、必ず電話連絡をしてから、医療機関を受診しましょう。

早期発見のため、自覚症状がなくても、1年に1回は検査を

症状がでないこともあります。胸部X線検査を受けることで、結核を発病していないかを調べることができます。結核から自分の健康と大切な人を守るためにも、早期診断と治療が大切です。

こんな症状があったら要注意！

- せきやたんが2週間以上続く
- 発熱（微熱）や体のだるさが2週間以上続く



9／21～30は
秋の全国交通安全運動期間

日没が早まる秋は、夕暮れ時に交通事故が増える傾向にあります。反射材などを積極的に着用しましょう。

問土木管理課交通安全係（☎5722-9442、FAX5722-9636）、
目黒警察署（☎3710-0110）、碑文谷警察署（☎3794-0110）



交通安全運動の重点事項

- 子どもをはじめとする歩行者の安全と自転車の安全利用の確保
- 高齢運転者などの安全運転の励行
- 夕暮れ時と夜間の交通事故防止と飲酒運転等の危険運転の防止
- 二輪車の交通事故防止

高齢者・歩行者などの交通事故が多発しています

- 交通ルールを守りましょう
- 歩行者は横断歩道を渡りましょう
- 夜間は反射材を着用しましょう